

平成29年度「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」教育長あいさつ

平成29年6月10日（土）  
県生涯学習センター

本日、多数の皆様をお迎えして、平成29年度「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」を開催できますこと、心から御礼申し上げます。

皆様方には、日頃より、県内各地において、それぞれのお立場から愛媛の子どもたちの健やかな成長のために御尽力をいただいております、誠にありがとうございます。

また、御来賓として、文部科学省生涯学習政策局 社会教育課長 西井 知紀様には公務御多用の中、御臨席を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、次代を担う子どもの健やかな成長は、社会全体の願いであります。近年、地域社会の連帯感の希薄化などから、地域の教育力の低下が課題とされております。しかしながら、県内各地においては、事業関係者の皆様のお力添えにより、地域の豊かな人材による教育活動支援や放課後子ども教室等の活動が地域に定着し、地域で子どもたちの成長を支援する取組が成果を挙げております。

このような中、この4月に社会教育法等が一部改正され、地域学校協働活動が円滑かつ効果的に実施されるよう、都道府県及び市町教育委員会に対して、体制整備や普及啓発、地域学校協働活動推進員の委嘱等により、学校と地域の連携・協働の一層の推進を図ることが求められております。

県におきましても、教育基本方針の第一に「社会総がかりで取り組む教育の推進」を掲げ、家庭や地域の教育力の向上を図るとともに、第四次生涯学習推進計画の施策に、「学校・家庭・地域の連携による教育の推進」を盛り込み、学校、家庭、地域のそれぞれが役割を果たし、連携・協働しながら、地域全体で子どもを育てる意識の醸成を図ることを目指して、各種事業に取り組んでいるところです。

この「集い」は、教育という枠組みを超えて、子どもたちの成長に関わる、保健・福祉、子育て支援、警察、企業等の多様な立場の方にも御参加いただいております。そして、子どもを取り巻く多様な問題を共通課題としてとらえ、子どもたちの豊かな教育環境の構築に努めるとともに、学校・家庭・地域の連携・協働した取組の一層の推進を図り、地域の大人一人一人の力をすべての子どもたちの愛顔のために幅広く生かしていただく契機となることを願って開催するものであります。

本日は、株式会社ジブンノオト代表取締役、キャリア教育デザイナーの大野圭司先生による御講演をいただくとともに、五つの個別テーマによる分科会での事例研究をとおして、研修や情報交換を行うこととしております。

皆様方におかれましては、それぞれの立場や経験に基づいた様々な視点から活発な御協議をいただき、実りある研修となりますよう御理解と御協力をお願いいたします。

終わりに、本日御参会の皆様のお健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。